

Hexagonal ODFのX軸

2018年10月15日

HelperTex Office

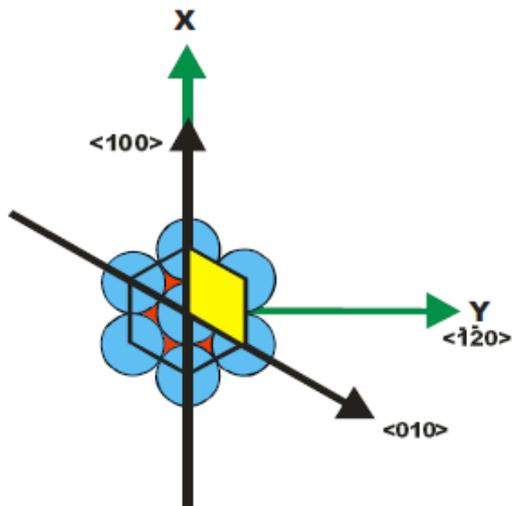
概要

HexagonalのODFする場合、X軸の取り方で、結晶方位が異なります。

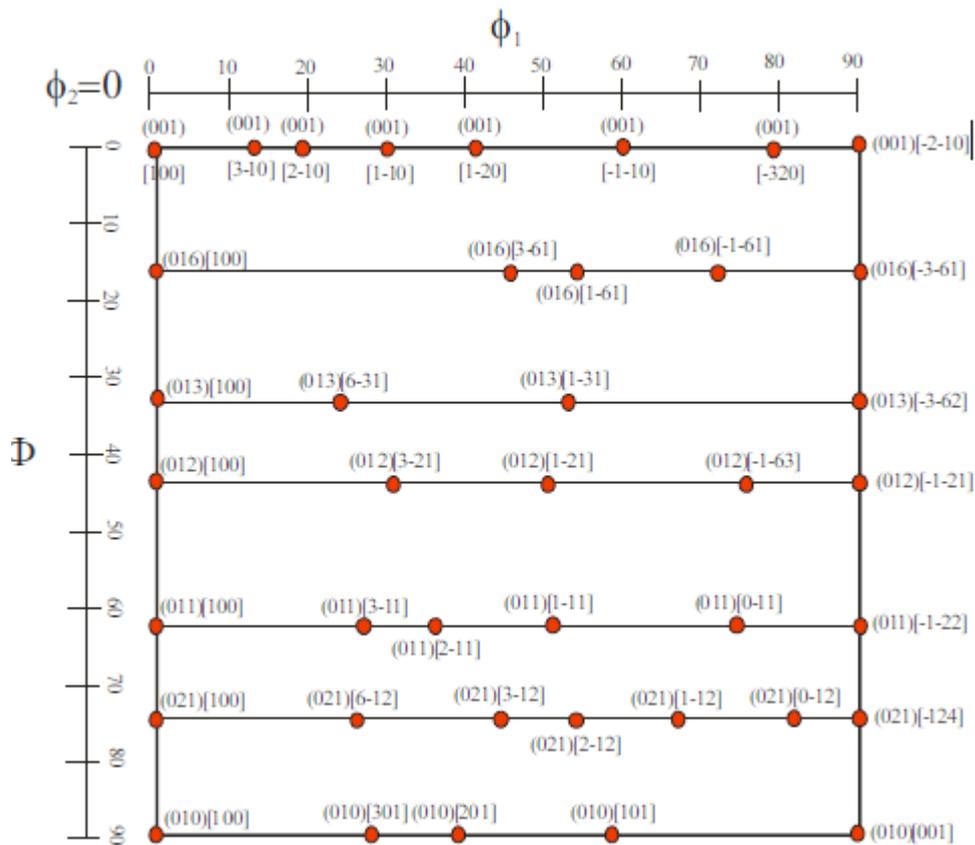
ご使用のODFのX軸の確認が必要です。

本資料では、LaboTex, TexTools, MTEX, ATExを比較、対策を行います。

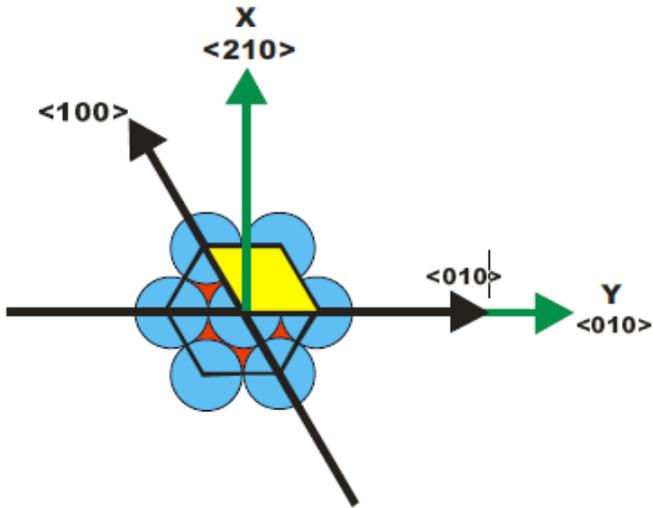
X軸の取り方 A-Type



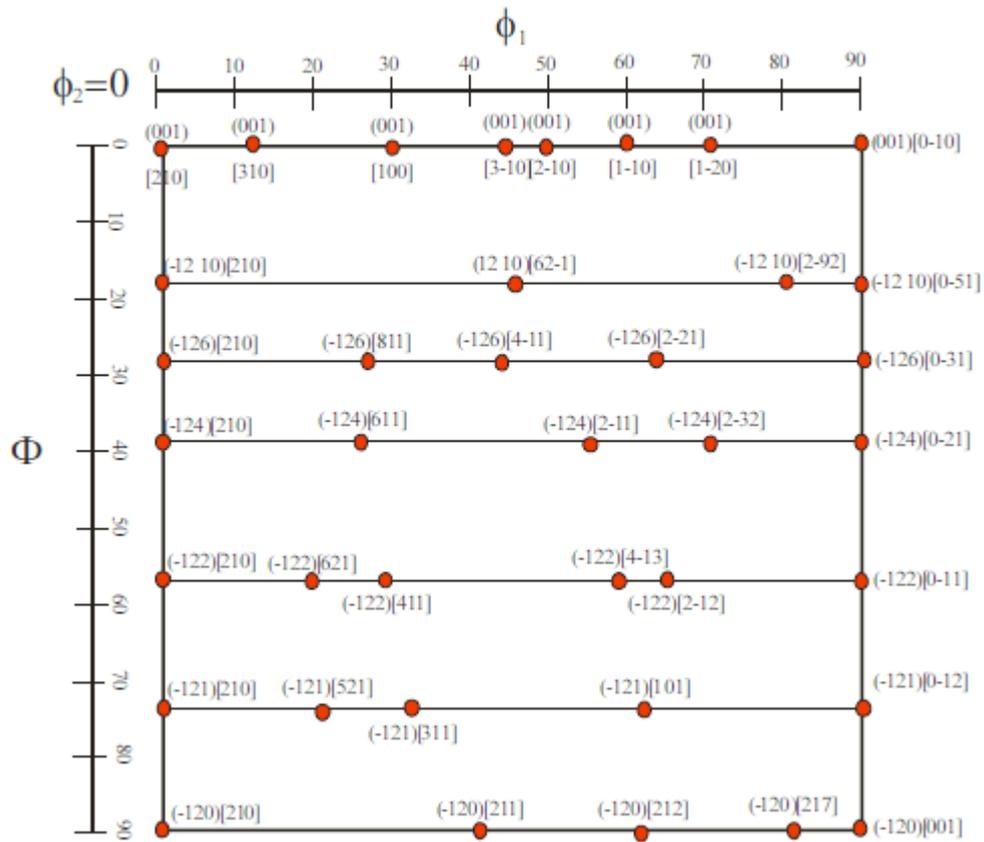
ODF - Section $\phi_2=0$



X軸の取り方 B-Type



ODF - Section $\phi_2=0$

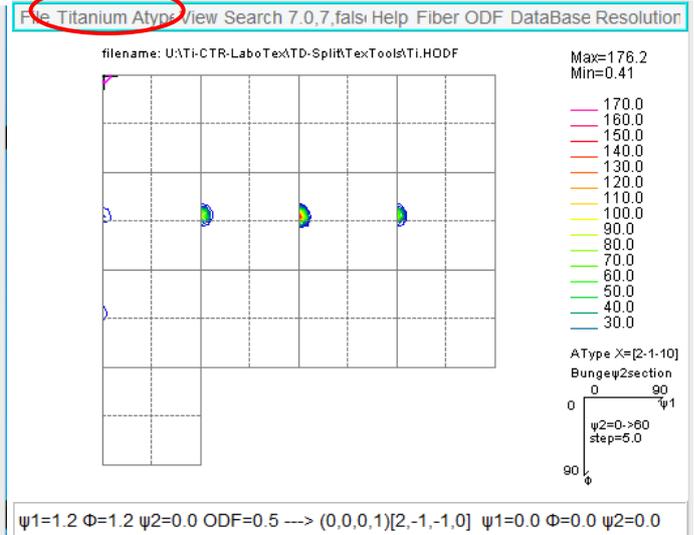
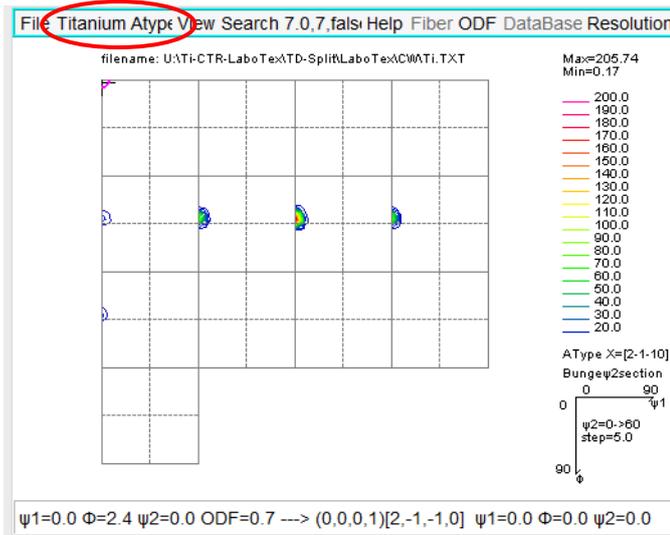


ϕ_2 が 30 度シフトします。

同一データを解析した場合 (L a b o T e x は切り替え可能)

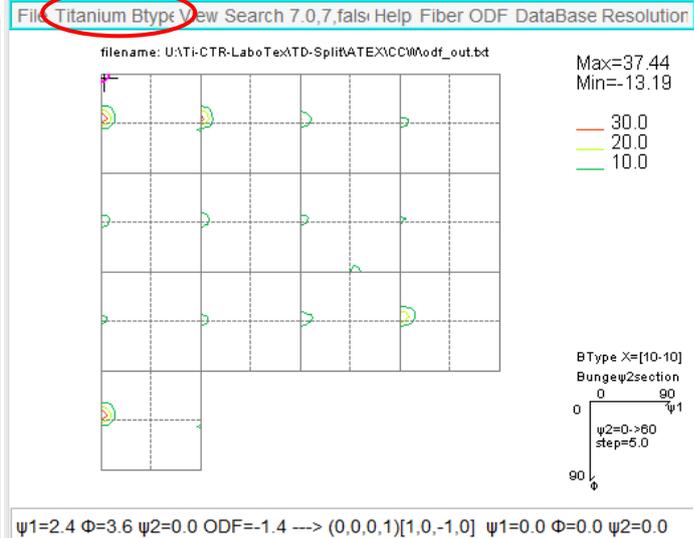
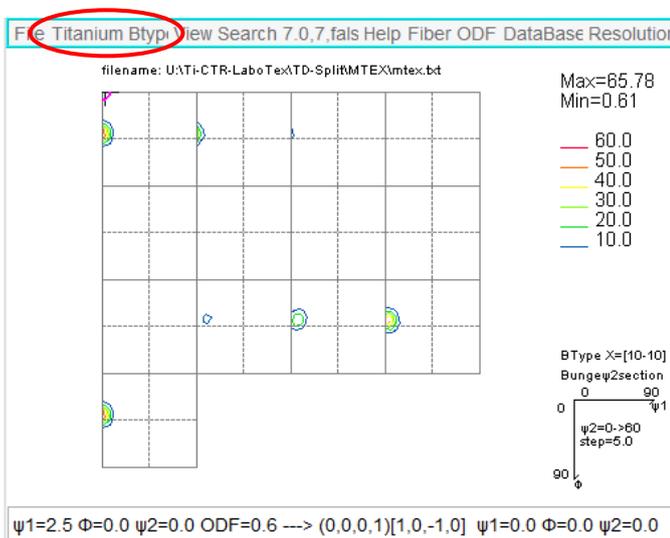
L a b o T e x

T x T o o l s



M T E X

A T E X



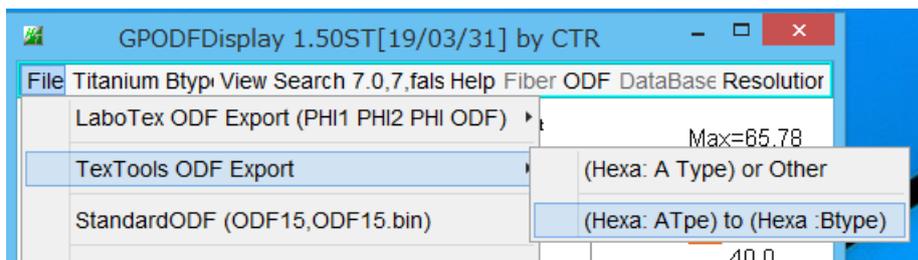
L a b o T e x, T e x T o o l s は A - T y p e

M T E X, A T E X は B - T y p e でファイルが作成されています。

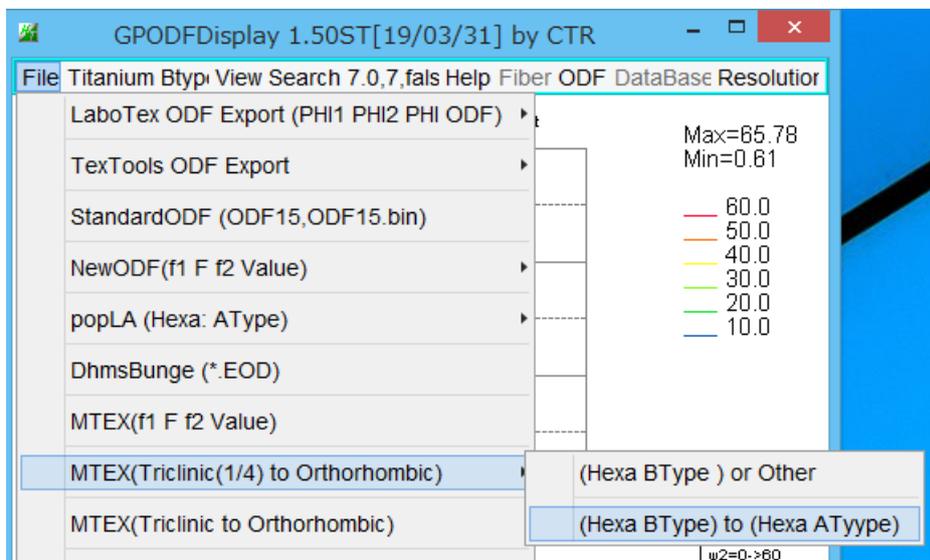
L a b o T e x は、ソフトウェア内で A - T y p e, B - T y p e が切り替えられ、ファイルも作成されるが、他の ODF では切り替えが不明

この為、G P O D F D i s p l a y ソフトウェアで切り替えます。

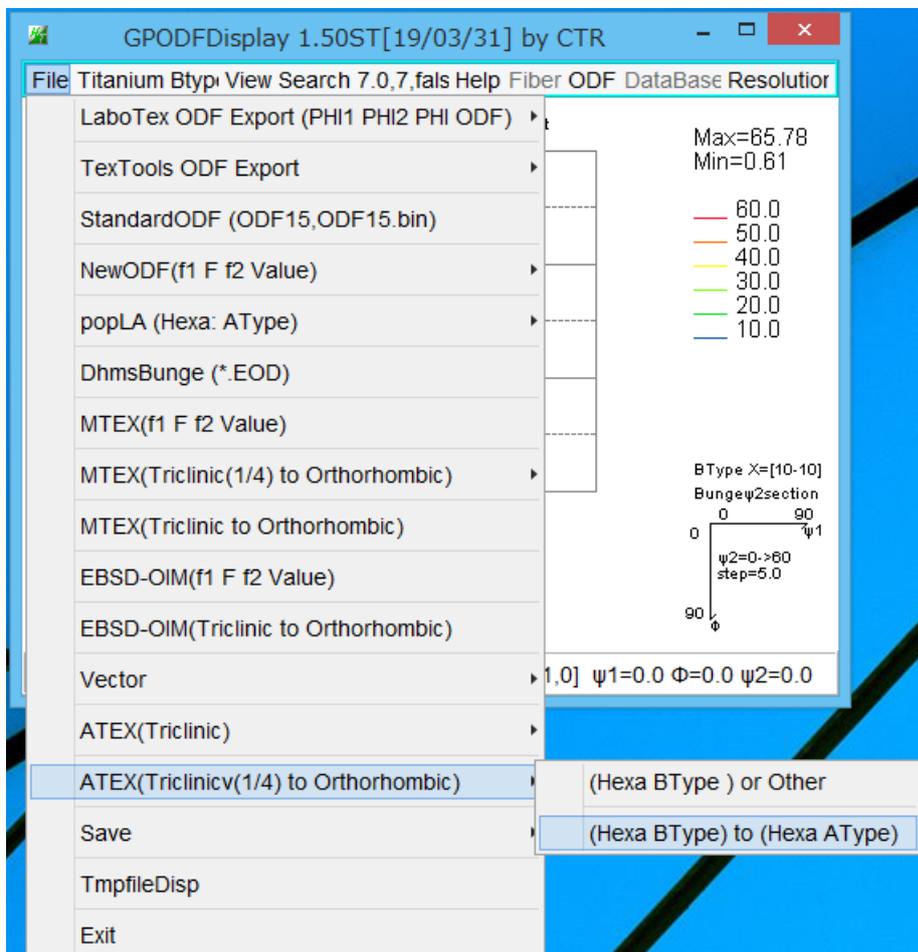
TexToolsの切り替え



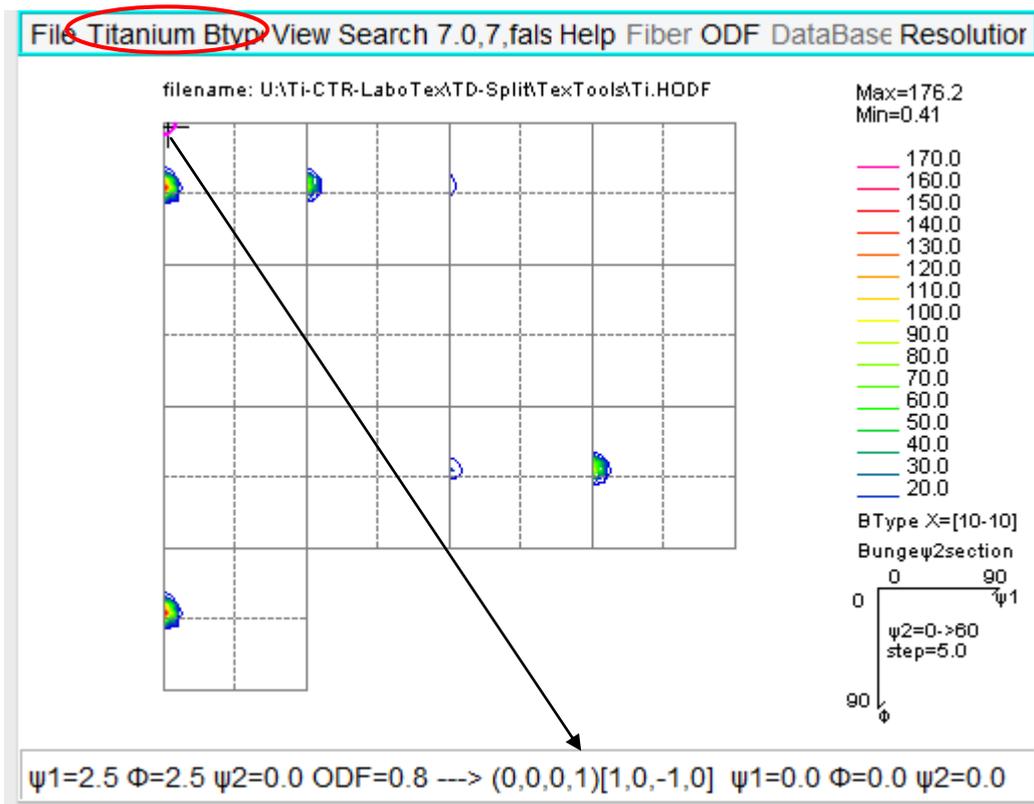
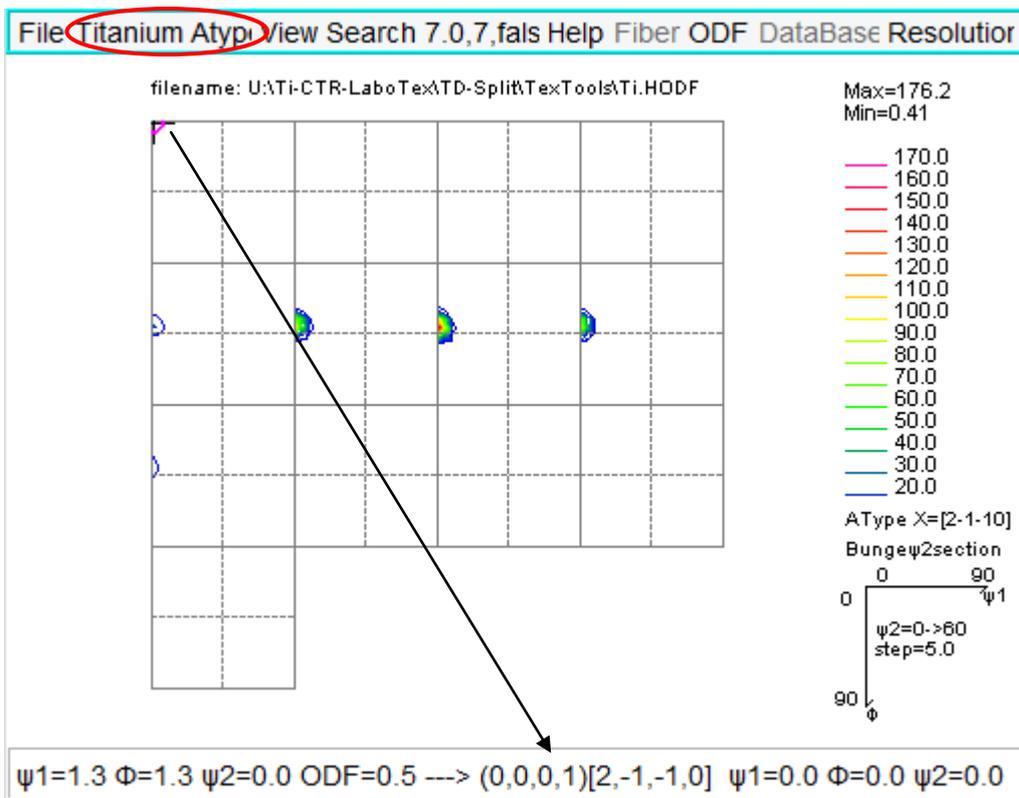
MTEXの切り替え



ATEXの切り替え



TextToolsの切り替え例



尚、A-Type <—> B-Type, 3指数 <—> 4指数変換は、HexaConvertソフトウェアを参考にして下さい。

HexaConvertソフトウェア

